

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

2020年

法人名	かがやき長野	代表者	田中夏子	法人・事業所の特徴	「ひとりぼっちにならない、しない」をスローガンに持つ「長野県高齢者生活協同組合」を母体に持ち「地域のより所」を目指して設立しました。通い・訪問・宿泊、それぞれのサービスを馴染みのスタッフがを行うことで、利用者に安心感を持ってもらうことが出来ます。また、利用者の都合による通いから訪問、訪問から泊まり等、サービスの変更依頼にも柔軟に対応して家族の負担を軽減します。
事業所名	かがやきの家笹部	管理者	石川真奈美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	5人	人	人	1人	2人	1人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	質の向上のため計画を立てて研修に取り組んでいく。 引き続き実践者研修の受講を進める。	実践者研修の受講は体制が整わず出来なかった。 内部研修は計画を立てて実施。職員間の危険予知がすすみケアの見直しにつながった。	介護福祉士の試験も東京での開催だったため辞退した職員もいた。	介護主任の実践者研修の参加。 介護技術向上のための内部研修の実施。
B. 事業所のしつらえ・環境	「小規模多機能型居宅介護」のサービスについてパンフレットを使用し更に地域に知らせていく。 看板について意見を頂いたので設置に向けて検討していく。	看板の設置を予定していたが意見がまとまらず実現できず。 パンフレットは新しい物を作成し活用する事が出来た。	小規模多機能型居宅介護がどのような事業なのか、どのように利用できるのか分かりづらい。	地域包括ケアシステムの理解。小規模多機能型居宅介護事業所としての在り方を掘り下げて行く。
C. 事業所と地域のかかわり	マスコミへの取材依頼やチラシ配布等事業所のPRを行ってゆく。 文化展への利用者作品の出展を進める	新型コロナウイルスの影響により事業所間でも来て頂くこと出向くことが難しくなり出来なかった。	文化展等、地域行事は中止となった。 コロナ禍では難しい部分も多かった。	コロナ明けに向けて、どのように利用者に関わっていけるか地域の方含めて話し合っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	傾聴を含めオレンジカフェ参加を強める。 引き続き利用者の地域資源を確認していく。	新型コロナウイルスの影響でオレンジカフェも中止となり参加出来なかった。 個別利用者には包括が主催で地域ケア会議を実施した。	オレンジカフェは中止とした。 利用者の地域資源の意味が解らない。 新型コロナウイルスの影響が考えられ解らない。	オレンジカフェ再開時には送迎・傾聴の協力を行う。 地域資源など分かりやすい説明出来る機会を持つ。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事例検討などを通じて小規模多機能型居宅介護のサービスについて地域の役員や利用者家族の理解を含めていく	運営推進会議は初回のみでの開催となってしまう後は書面のみでの報告となり地域の方には解りづらい形となった。	会議は行わなかったが報告は頂いていた。 運営推進会議での意見から改善については努力している。	運営推進会議での要望や助言について一層活かせるように取り組みを行う。
F. 事業所の防災・災害対策	災害時の想定を行い近隣との協力関係を再確認する。 何が何処にあるか等、地域の情報を確認しておく。	災害時の対応として、事業所内で安否確認ツールを導入した。 防災訓練の避難訓練等は未実施。書面による確認だけとした。	地域の防災訓練は中止となった。 コロナ禍の中で消防署も来てもらうことが難しかった。	火災訓練だけでなく、地震・水害を想定した訓練を行う。災害時、スタッフ、利用者の安否確認の手段を決めておく。

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画に取り組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 質の向上のため計画を立てて研修に取り組んでいく。 引き続き実践者研修の受講を進める。	5		3
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週32時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）	8		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	6		2
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？	5		3
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	5		3

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 「小規模多機能型居宅介護」のサービスについてパンフレットを使用し更に地域に知らせていく。 看板について意見を頂いたので設置に向けて検討していく。	3		5
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	4		4
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4		4
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	5		3
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	4		4

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 マスコミへの取材依頼やチラシ配布等事業所の PR を行っていく。 文化展への利用者作品の出展を進める。	1	3	4
1	職員はあいさつできていますか？	6		1
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	4	1	3
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4		4
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	4		3

D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 傾聴を含めオレンジカフェ参加を強める。 引き続き利用者の地域資源を確認していく。	3	1	3
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	2	1	5
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	6		2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	2	1	4
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？			8

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 事例検討などを通じて「小規模多機能居宅介護」のサービスについて地域の役員や利用者家族の理解を深めていく。	6		2
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	8		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	3		5
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	3		4
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	3		4

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 災害時の想定を行い近隣との協力関係を再確認する。何が何処にあるのか等、地域の情報を確認しておく。	3		5
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	1	2	5
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1		6
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		7	1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	2		4

以上で終了です。ありがとうございました。